

河川事業(維持管理(堤防))

○評価視点:位置付け

評価項目:安全で安心な暮らしの確保

評価指標:危険度判定(重要水防区間)

評 価 要 素			点数
重要水防区間	整備対象区間が重要水防区間内である		60
	整備対象区間が重要水防区間外である	浸水範囲に家屋有り	40
		浸水範囲に家屋無し	0

評価項目:安全で安心な暮らしの確保

評価指標:危険度判定(堤防の危険度)

評 価 要 素			点数
堤防の危険度	(堤防天端高ー背後地盤高さ)が 1.0m以上		20
	(堤防天端高ー背後地盤高さ)が 0.0m～1.0m未満		10
	(堤防天端高ー背後地盤高さ)が 0.0m未満		0

評価項目:安全で安心な暮らしの確保

評価指標:危険度判定(流下能力(堤防高))

評 価 要 素			点数
流下能力(堤防高)	計画高水流量規模の洪水の水位が現況堤防高を越える		20
	計画高水流量規模の洪水の水位と現況堤防高との差が堤防の計画余裕高に満たない		10
	計画高水流量規模の洪水の水位が現況堤防の計画余裕高を満たす		0

※「現況堤防」とは、河川改修計画での整備が完了した堤防のことをいう。

○評価視点:必要性・効果

評価項目:事業の効果

評価指標:浸水想定区域内の被害規模(浸水戸数、浸水面積)

評 価 要 素			点数
最大浸水戸数 又は 最大浸水面積	家屋が20戸以上又は面積が20ha以上		60
	家屋が5～20戸未満又は面積が5～20ha未満		50
	家屋が1～5戸未満又は面積が1～5ha未満		40
	家屋無し又は面積が1ha未満		0

評価項目:事業の必要性

評価指標:近年の出水状況

評 価 要 素			点数
近年の出水状況	過去10年間で氾濫危険水位相当以上の水位を観測した実績がある。		40
	過去10年間で氾濫注意水位相当以上の水位を観測した実績がある。		20
	過去10年間で氾濫注意水位相当以上の水位を観測した実績がない。		0

※水位計が設置されていない場合は、下流の本川等における水位計の実績とする。

○評価視点:実施環境

評価項目:地元状況

評価指標:想定被害区域の状況(土地の利用状況)

評 価 要 素		点数
背後地の土地利用 状況	人家連担区域である	60
	背後地に家屋等がある	50
	農地等がある	40
	山付である	0

評価項目:地元状況

評価指標:想定被害区域の状況(公共施設の数)

評 価 要 素		点数
公共施設への影響	あり	20
	なし	0

\*公共施設とは、公民館、病院、学校、幼稚園、福祉施設、国道、県道など  
土地利用及び公共施設への影響は、想定はん濫区域内とする

評価項目:地元状況

評価指標:地元関係者の協力・要望

評 価 要 素		点数
地元関係者の協力	地元の要望があり	20
	工事に対し協力的である	10
	工事に対し非協力的である	0

評価項目:環境等

評価指標:自然環境保全 :定性評価

評価指標:生活環境対策 :定性評価

評価指標:コスト縮減策 :定性評価